

秋の夜長に・・・

校長 徳永 由美子

朝夕は、涼しいというより肌寒く感じるようになりました。秋ですね。「秋といたら？」子どもたちに尋ねてみました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋…。たくさんの秋を教えてくださいました。楽しそうに理由まで説明してくれる一人一人の笑顔に、「ああ、幸せだなあ。」と思います。それは、自分の「思い」をちゃんと伝えることができる人になっているからです。人は、生まれながらにして「自分の思いを誰かに伝えたい」という欲求があるのだそうです。でも、「自分の思いを誰かに伝える」ためには、「自分の思いを誰かに受けとってもらえた」という経験が必要です。それがなければ、「自分の思いを誰かに伝える」なんて、怖くてできないからです。もちろん、人見知りだったり、照れ屋だったり、伝えることが苦手な子どもたちはいます。でも、「自分の思いを誰かに受けとってもらえた」経験があれば、必ず最後は「自分の思いを誰かに伝える」ことができるのです。

では、「誰か」とは、誰でしょう…。お父さんお母さん、おばあちゃんおじいちゃん、おじおば、先生…。秋の夜長、考えるともなしに考えていました。「誰か」は、子どもたちに関わる全ての大人なのではないでしょうか。大人は願います。この目の前の子どもたちが、ずっとずっと笑っていてほしい。どんな困難にあっても自らの力で乗り越え、生き生きと生きていてほしい。究極の願いはそこにあるのだと、私は思います。あんなさん、めいさん、つむぎさん、いふうさん、うらんさん、ぶんたさん、のあさん、音次朗さん、洸志さん、大和さん、百音さん、凜奈さん、結吏さん、一鷹さん、鉄心さん、楓大さん、彩葉さん、芽衣さん、心大さん、琉輝也さん、悠さん。みんなの五年後、十年後を思いまします。そのために、今何ができるのか考えまします。それぞれの立場で…それぞれの役割で…思い考える大人でありたいと思うことでした。

さあ、11月7日(日)は文化祭です。また一つ成長した子どもたちに出会える場です。子どもたちだけでなく、家庭教育学級や地域の方々の展示発表もあります。学校と家庭と地域がいっしょにつくる文化祭です。

【一人一人が主人公 きらり輝け 久志っ子】

文化祭も、御理解と御支援をよろしくお願いたします。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

■11月1日(月)～7日(日)は地域が育む「かごしまの教育」県民週間です。現在、新型コロナウイルス感染症は小康状態ですが、文化祭の開催時間が短縮、保護者や地域の方々とふれあい給食が中止となっております。しかしながら、子どもたちは、文化祭の成功に向けて毎日練習をがんばっています。文化祭では、恒例のオープニングビデオから始まり、小学生のオリジナルJAZZ演奏、中学生の英語スピーチと弁論、合奏(三味線)、全児童生徒による久志っ子ソーラン節、そして、児童生徒総出演の島口劇「島ぬ宝」があります。どの発表も見応えがあると思いますが、今年度も島口劇が充実しています。配役決めや道具の準備など、子どもたちと先生方が一緒に協力し合って取り組んでいます。小道具づくりでは、子どもたちより先生方が、夢中になっているようです。島の自然や文化、歴史の学びから、子どもたちが生きているこのふるさとに誇りをもち、伝承していくことをメッセージとして御覧いただけるかと思ひます。また、校長先生が指導された島口がふんだんに取り入れられ、島口を大切にしていこうとする子どもたちの姿勢がひしひしと伝わってきます。思い溢れる感動の島口劇「島ぬ宝」に御期待ください。■体育館後方では、地域の方々が日頃取り組んでおられる盆栽や昆虫標本、短歌、絵画、そして、家庭教育学級で取り組んだハーバリウム製作等の見応えのある作品が展示されます。そして、子どもたちの習字や工作、作文などの作品もずらりと展示されます。是非、御覧ください。■また、県民週間期間中は、自由に授業を参観することができます。参観される方は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため検温とマスクの着用に御協力ください。■日頃、子どもたちがどのような学習環境や学習内容で授業を受けているのか御覧いただけるいい機会です。子どもたちも地域の方々が見に来てくださるこ



花なりば匂い 枝ぶりやいらぬ
姿(なり) 振りやいらぬ
人(ちゅう) や心(こころ)

花も、人も、外見ではありません。
優しい心が、がんばろうとする心が、
たくましい心が、1番大事なのです！
どうか、忘れないでくださいね。いつ
も、いつまでも、応援しています。

とを楽しみにしています。お誘い合わせのうえ、御来校ください。■また、毎年、参観していただいた後に、感想をいただいています。これからの学校教育活動への貴重な御意見です。アンケートの御協力、よろしくお願ひします。



読書祭り(10/6)

■10月6日(水)に読書祭りが行われました。多読者は、1年生の下菌絨さん(202冊)、2年生の植田文大さん(202冊)、4年生の植田大和さん(96冊)、6年生の植田楓大さん(51冊)でした。お薦めの本の紹介では、児童生徒一人一人が選んだ本をみんなの前で発表しました。■図書委員会からは、本の紹介に合わせて、クイズも出題されました。また、今年度は、お気に入りの詩や短歌の発表をしました。これからもたくさんのお本と出会って読書の世界を広げていきましょう。



第2回村小学校集合学習(10/20)

■10月20日(水)に村小学校集合学習がありました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昼食なしで午前中の開催となりました。子どもたちは、村内の友達と学習できる機会なので、迎えのバスに喜んで乗り込んでいきました。■たくさんの友だちに囲まれながらの学習は、日頃、味わえない学級の雰囲気や友人とのコミュニケーションなどが体験ができます。■1・2年生は外国語活動で自分の好きな果物を英語で話したり答えたりする学習と島口によるカル



タとり大会、3・4年生は、体育の体づくり運動でボールキャッチと平均台運動と国語の学習でタブレットを活用した漢字集めと慣用句学習、5・6年生は国語で夏を季語にした句会と体育でチーム対抗のソフトバレーボール大会と特色ある学習活動が展開されました。どの学年も2時間のみの学習活動だったので、あっという間に集合学習が終わってしまいましたが、久しぶりに村内の友だちと集うことができたことで、日頃の学習活動にも増して、新鮮で生き生きと授業へ取り組む姿が見られ頼もしく感じられました。■子どもたちからは、「給食をみんなで食べたかった。」「昼休みにみんなで遊びたかった。」という声が聞かれました。子どもたちが集合学習を楽しみにしていることが分かります。来年度は、いつものように丸一日活動できることを祈りたいと思います。そして、また、お互い磨き合い、高め合える集合学習にしたいですね。



大島地区クラブ対抗ソフトテニス大会(10/24)

■10月24日(日)秋雨の中、奄美市総合運動公園のテニスコートにおきまして、大島地区クラブ対抗ソフトテニス大会が開催されました。久志チームからは児童生徒はもちろん河添奈里さん、下菌結さん、植田大伸さん、植田裕大さん、福山和良さん、そして、興先生も出場しました。階級別に行われて接戦が繰り広げられ優秀な成績(C級 第2位、D級 第3位)を収めることができましたので御紹介します。

第26回 大島地区ソフトテニス クラブ対抗



令和3年10月24日(日) 三嶺山テニスコート

日級	チーム学校 久志 久志A 福山 彩葉・福山 芽衣・保池 欽心・植田 楓大 福山 香次朗・保池 流志
C級	久志B 福山 彩葉・福山 芽衣・保池 欽心・植田 楓大 福山 香次朗・保池 流志
D級	久志B 植田 大和・植田 文大・植田 百貴・植田 紹史 植田 裕大・福山 和良



■久志小には、ソフトテニス、空手道と2つのスポーツ少年団があります。日頃から修練を重ねて心身を鍛えています。地域の方々、保護者の支援のもと活動している体制も素晴らしいと思います。子どもたちの活躍に今後の期待が高まりますね。